

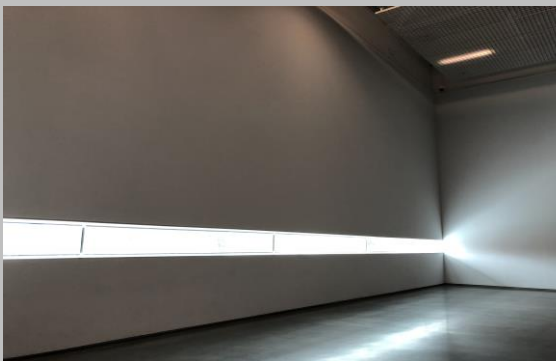
04.国立馬車博物館



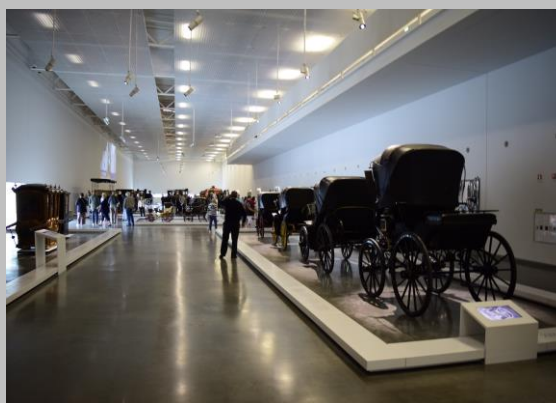
2015年に竣工した、この建物を設計したパウロ・メンデス・デ・ロシャの言葉によれば、「この博物館にはドアがなく、あらゆる面での触れ合いの機会を作り出している。」とした言葉があった通り博物館内は蛇行するような形で展示空間を歩いた。



また、この博物館は、以前軍の工場あったベレンの町の一角を占めており、文化的施設と公共スペースの2つの目的を担っている。



特に興味深いのがプロジェクトは博物館だけが目的ではなく、「公共スペース」がある町を提供する都市インフラストラクチャーとしても機能し、展示エリアと技術インフラストラクチャーを拡張するという博物館のニーズに対応している所であり、地域と文化を繋ぐ「ハブ」のような役割を果たしているように見えた。



田中 宏幸